



Hikone Castle Town

彦根城を世界遺産に

国宝

彦根城天守

城主は天守に登ったのか？

江戸時代、彦根城の天守はどのような意味を持っていたのか？

もちろん、城主・井伊家の住居ではない。

江戸で育ち、当主の地位を継いだ、新しい藩主の最初のお国入り。

その時、藩主は初めて天守に登った。そして、京都の方向と江戸の方向に拝礼し、領地を望み、自らの責任の遂行、安定した統治の実現を誓った。

また、天守の中には、歴代藩主の甲冑などの重要物が、象徴的に保管された。



Hikone Castle Town

彦根城を世界遺産に

重要文化財

西の丸^{さんじゅうやぐら}三重櫓

琵琶湖に向かってそびえる城

江戸時代の彦根城では、天守の他には、西の丸三重櫓と、山崎丸三重櫓の2棟が、3階建ての建物だった。いずれも、彦根山が琵琶湖方向に伸びる場所に位置していた。現在は、天守とともに西の丸三重櫓が保存されている。天守に比べて装飾も少なく、地味な建物であるが、現在も琵琶湖を往く船に、その威容を示す。彦根城は、水城でもあったわけだ。



Hikone Castle Town
彦根城を世界遺産に

重要文化財

彦根城馬屋

いわくつき高級車専用ガレージ

単なる馬小屋と思っ**て**はいけない。

ここは、井伊家と徳川將軍家の結びつきを象徴する、重要な施設である。

江戸時代、参勤交代によって、江戸を離れる井伊家の当主は、將軍に挨拶を行い、その返礼に馬一頭を拝領することが恒例であった。

この馬屋は、この大切な馬を飼育する場所。

大名が何よりも大切に**した**、將軍からの拝領品。そんな馬が、ずらりと並んだ。



Hikone Castle Town

彦根城を世界遺産に

名勝

げんきゅうらくらくえん

玄宮楽々園

本物の天守を望む

現存唯一の大名庭園

彦根城の城内には、大名庭園が現存する。大きな池を中心に、立石や組み石が配置され、木々の中、3棟の茶室も営まれた安らぎの空間である。

藩主たちは、薩埵林^{さつたりん}や武蔵野^{むさしの}など、各地の名所に見立てた景を楽しみつつ、和歌、茶道、香道、詩文などの文化活動に加え、乗馬や遠的などの武芸も行った。

ここは、武士たちの日頃の鍛錬の成果を藩主に披露する、心ざわつく場でもあった。



Hikone Castle Town
彦根城を世界遺産に

彦根市指定文化財

能舞台

江戸時代の校歌斉唱？

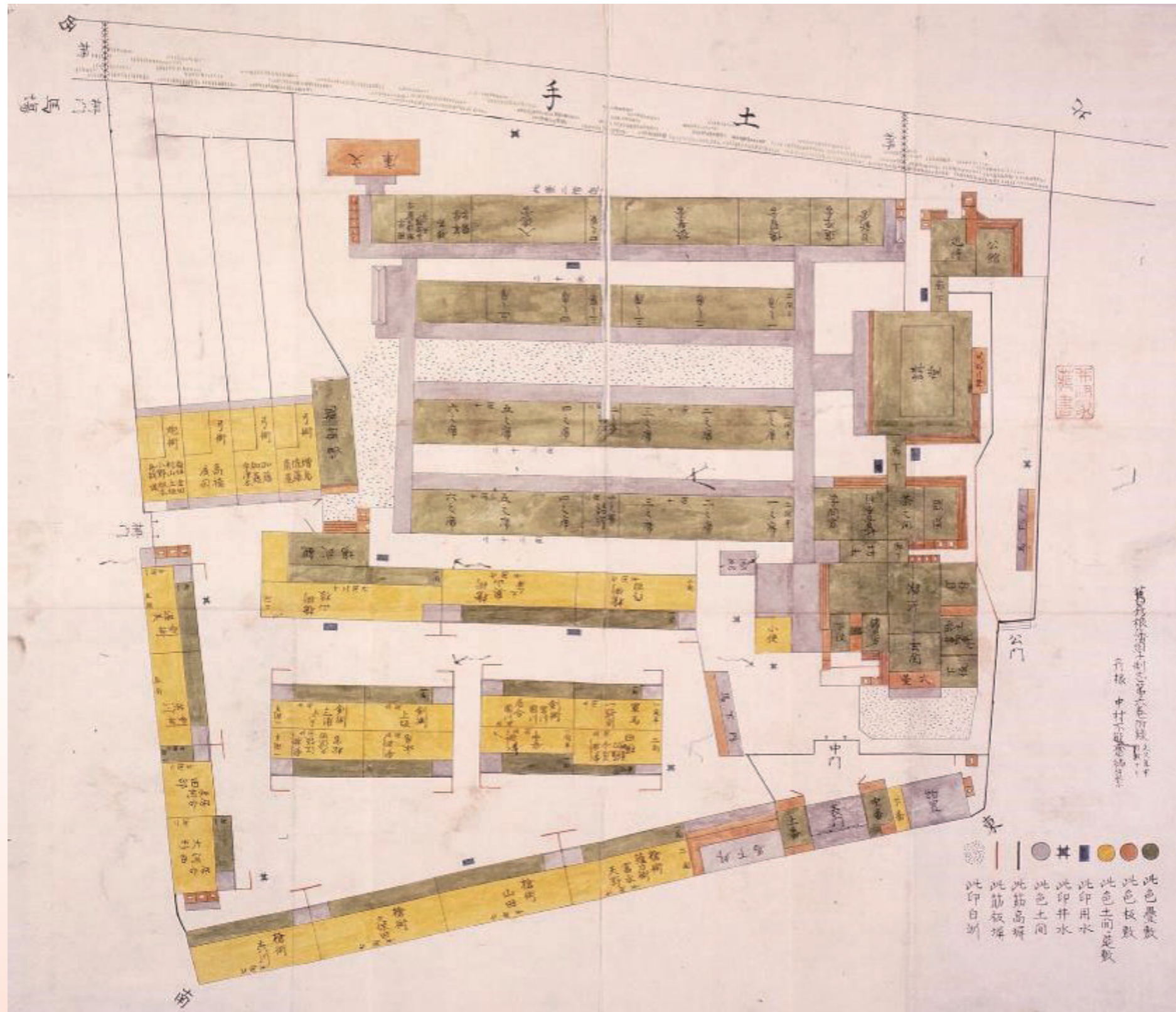
能楽は、武士の正式な式楽・芸能である。

江戸幕府が、何らかの儀式を行う場合は、能の上演を行うと定めたことにより、各地の藩でもこれになった。学校行事の校歌斉唱に近いかもしれない。

このため、城の中には能舞台が必需品となり、また、競って、能役者を召し抱えた。

彦根城に残る能舞台は、全国で唯一、城内の本来の場所をとどめる貴重な存在だ。

なお、信長で有名な「人生50年…」は能ではなく、幸若舞である。



弘道館絵図・彦根城博物館蔵



Hikone Castle Town
彦根城を世界遺産に

はんこうこうどうかん
藩校弘道館
武士の鍛錬の本質とは

1人の天才を生むための教育か？ 全体の底上げを果たすべき教育か？
教育方針についての激しい議論が戦わされた後、彦根城内に藩校弘道館（当初は稽古館）が
開設されたのは、1799年のことである。
武士の子弟には、優秀な成績を上げることが期待されたが、より重視されたのは、
「学問・武芸に励む」という気持ち・精神である。
その思想は、城内の彦根西中学校や彦根東高等学校にも受け継がれている。



Hikone Castle Town

彦根城を世界遺産に

彦根市指定文化財

いはらけながやもん

庵原家長屋門

堂々たる武士の屋敷

武士は格式を重視した。馬に乗れるか。どこに住むか。そして、住む家の外見は。長屋とは、屋敷を取り囲む細長い建物で、その一部を門としたものが長屋門。彦根藩では、長屋門は武家屋敷の正門であり、その規模が、そこに住まう武士の格式を表現した。

堂々たる姿を見せる旧庵原家の長屋門は、全国的にも屈指の規模を誇っている。さすが、彦根 30 万石のナンバー 2 クラスの重臣が住まう屋敷である。



Hikone Castle Town

彦根城を世界遺産に

うもれぎのや
埋木舎

彦根城の表玄関を飾る

直弼公も過ごした屋敷

開国の立役者、井伊直弼公が若き日に、心身の鍛錬に励んだ屋敷である。

その重要な屋敷が、なぜ、中堀から外側に営まれたのか。不遇の青年期の故だろうか。

確かに、井伊家子弟の屋敷の多くは、中堀の内部に営まれた。

しかし、佐和口の外側、いろは松から埋木舎の一角は、彦根城の玄関として重視され、例外的に重臣屋敷や庶子屋敷が配置された場所である。

埋木舎は、彦根城の玄関を飾る重要な施設であった。